

このたびは、「ローラ棒を用いた牛舎への野生鳥類の侵入防止管理技術に関する研究」というテーマで発表させていただき、優秀賞という大変光栄な賞をいただきました。誠にありがとうございます。正直「まさか自分が！」という気持ちでいっぱいです。初めての学会参加ということもあり、発表前は心臓が口から出そうなくらい緊張していました。本番では少しでも緊張を和らげようと、あえてコンタクトレンズをつけず、会場を“ぼんやり”見ながら登壇しました。そのおかげで、聴衆の方々の表情もよく見えず、なんとか落ち着いて話すことができました。この発表が形になるまで、実験の計画やデータの整理、発表練習に至るまで、指導教員の先生に何度も丁寧にご指導いただきました。自分一人では到底たどり着けなかったと思います。今回の受賞は、先生や関係者の皆さま、研究室の仲間の支えのおかげです。

本研究では、家畜伝染性疾病の拡大防止を目的に、畜舎への野生鳥類の侵入を防ぐための簡単な方法として、飼槽上部の鉄パイプに「ローラ棒」を設置する実験を行いました。鳥が止まろうとすると棒が回転してつかめない仕組みで、結果として特にアルミ缶ローラ棒でドバトの侵入羽数や滞在時間を大幅に減少させる効果が確認されました。

実験では、毎日の観察や撮れた動画の解析に時間がかかったり、思うようにデータが取れなかったりと、困難も多くありましたが、鳥がローラ棒にうまく止まれず飛び去る様子を映像で確認できたときは、研究の面白さと手応えを強く感じました。今回の受賞は、その地道な努力を評価していただけたようで大変嬉しく思います。

初めての研究発表でこのような評価をいただけたことは大きな励みになりました。今回の経験を糧に、今後は他の鳥類や異なる畜舎構造でも効果を検証し、より実用的な侵入防止技術の開発につなげていきたいと考えています。そして、畜産現場の課題解決に貢献できるよう努力してまいります。

最後に、本研究を遂行するにあたり、終始ご指導くださいました波平先生、日頃から御指導いただいております諸先生方、フィールド実験にご協力くださった技術職員の皆さま、そして日々支えてくださった研究室の仲間たちに心より感謝申し上げます。

次回はコンタクトレンズをつけても堂々と発表できるように頑張りたいと思います！！

